

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成17年2月24日(2005.2.24)

【公表番号】特表2004-504036(P2004-504036A)

【公表日】平成16年2月12日(2004.2.12)

【年通号数】公開・登録公報2004-006

【出願番号】特願2002-512414(P2002-512414)

【国際特許分類第7版】

C 1 2 N 15/09

C 1 2 Q 1/02

C 1 2 Q 1/68

G 0 1 N 33/48

G 0 1 N 33/483

G 0 1 N 33/53

G 0 1 N 33/566

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 1 2 Q 1/02

C 1 2 Q 1/68 A

G 0 1 N 33/48 M

G 0 1 N 33/483 C

G 0 1 N 33/53 M

G 0 1 N 33/566

【手続補正書】

【提出日】平成15年3月18日(2003.3.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

細胞試料中に存在する標的細胞の直接的な遺伝分析のための方法において、以下の工程：

- 標的細胞中の標的配列と相補的な標識された配列とのインサイチューハイブリダイズによって標的細胞を同定し、
- 相補的な標識された配列とのインサイチューハイブリダイゼーションによって標的細胞の遺伝分析を実施し、
- その際、標識された配列が分子標識であり、
- その際、細胞同定及び遺伝分析のハイブリダイズした配列の検出を1つのプロセス工程においてフローサイトメトリーを使用して実施する

ことを特徴とする細胞試料中に存在する標的細胞の直接的な遺伝分析のための方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項2】

試料中の標的細胞の定量を事前に実施する、請求項1記載の方法。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 3】

事前に標的細胞の副特性、有利には性決定を測定する、請求項 1 又は 2 記載の方法。